



## 国分寺中央コミュニティふれあいまつり

### 地域住民の交流を深める

3月3日、国分寺公民館にて国分寺中央コミュニティ推進協議会によるふれあいまつりが開催されました。地元の園児や小中学生、国分寺地区出身のアーティストなどによるステージイベントのほか、駐車場ではパトカーや消防車両、給水車などの展示や、自衛隊と消防署の制服着用体験などで賑わいました。

会場には能登半島地震災害義援金の募金箱が設置され、国分寺中央コミュニティ推進協議会からの寄付とあわせて総額55,237円を、栃木県共同募金会を通じて被災地にお届けします。



しもつけワイズ

「正解は②」

詳しくは32ページをご覧ください。

## 自治医科大学附属病院がヘリポートを整備

### ドクターヘリや大型防災ヘリを受け入れ

自治医科大学附属病院にヘリポートが新たに整備され、坂村市長らが現地を視察しました。

これまでドクターヘリは大学敷地内のグラウンドで離発着し、石橋地区消防組合などの救急車で患者を救急救命センターまで搬送していました。このヘリポートの整備により、一層の救命率の向上が期待できます。

同建物内には防災の設備も整備され、県内の災害はもちろんのこと、県外広域災害においても要として機能できる設計になっています。



## 天平の桜歌会に本巢市長らをご招待

### 淡墨桜が結んだご縁を大切に

岐阜県本巢市の藤原市長、議長、教育長らを招いて、3月24日に天平の桜歌会が開催されました。開会式で藤原市長は、下野市と末永い交流を望みますとご挨拶され、膨らみはじめた淡墨桜のつぼみをご覧になりながら野点を楽しまれました。

本巢市との交流は、昭和60年に旧国分寺町が日本三大桜の1つである根尾谷淡墨桜<sup>みしようなえ</sup>の実生苗を旧根尾村から譲り受けたことから始まり、令和4年3月に友好都市協定を締結しています。

